経営比較分析表（令和5年度決算）

岐阜県　揖斐川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**	
-	60.34	99.28	1,617	

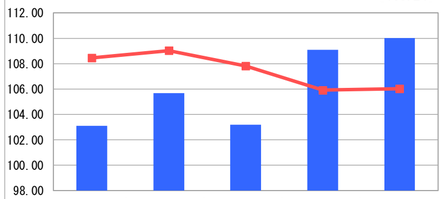
人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
19,062	803.44	23.73
現在給水人口(人)	**給水区域面積(km²)**	**給水人口密度(人/km²)**
18,756	35.59	527.00

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

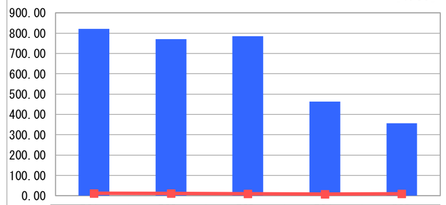
【108.24】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	103.09	105.67	103.19	109.09	110.03
平均値	108.46	109.02	107.81	105.92	106.01

②累積欠損金比率(%)

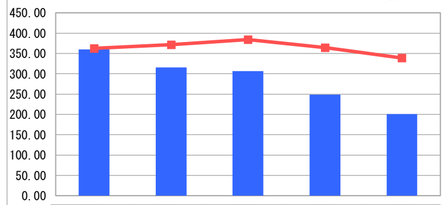
【1.50】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	821.66	769.98	785.36	464.02	355.96
平均値	11.94	11.00	8.86	7.78	9.59

③流動比率(%)

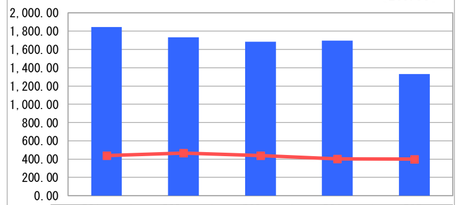
【243.36】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	360.42	315.48	306.22	248.80	200.96
平均値	362.93	371.81	384.23	364.46	338.89

④企業債残高対給水収益比率(%)

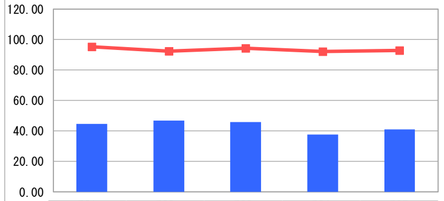
【265.93】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	1,844.00	1,732.92	1,684.38	1,696.24	1,329.39
平均値	439.05	465.85	439.43	403.72	400.21

⑤料金回収率(%)

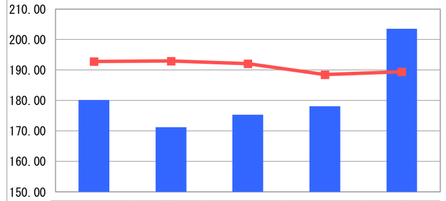
【97.82】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	44.75	46.69	45.81	37.76	40.96
平均値	95.26	92.39	94.41	92.17	92.83

⑥給水原価(円)

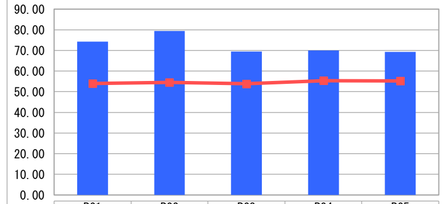
【177.56】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	180.15	171.21	175.38	178.12	203.53
平均値	192.82	192.98	192.13	188.51	189.43

⑦施設利用率(%)

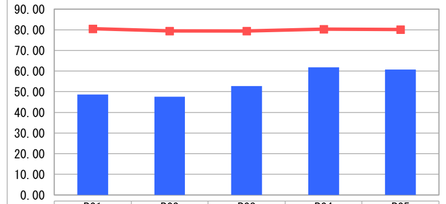
【59.81】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	74.22	79.38	69.36	69.89	69.34
平均値	54.05	54.43	53.87	55.31	55.14

⑧有収率(%)

【89.42】

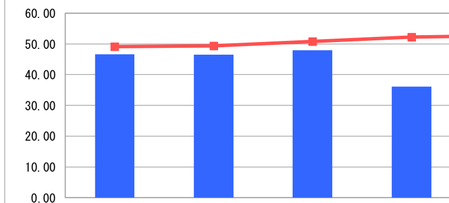


	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	48.65	47.63	52.70	61.72	60.71
平均値	80.51	79.44	79.49	80.36	80.13

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

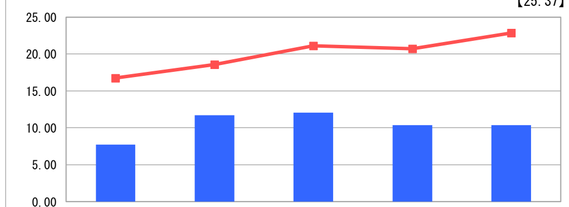
【52.02】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	46.62	46.56	47.93	36.11	37.77
平均値	49.12	49.39	50.75	52.20	52.70

②管路経年化率(%)

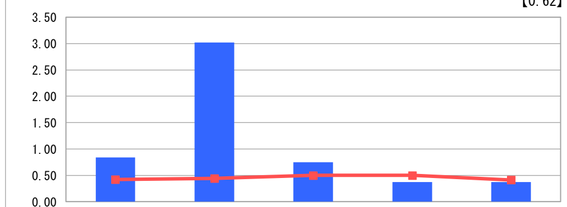
【25.37】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	7.71	11.70	12.04	10.36	10.36
平均値	16.76	18.57	21.14	20.73	22.86

③管路更新率(%)

【0.62】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.84	3.02	0.75	0.37	0.37
平均値	0.42	0.44	0.50	0.50	0.41

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、100%を超えており黒字経営ではあるが、一般会計からの繰入金に依存している現状である。
②累積欠損金比率は、平成26年度の会計制度改正に伴うみなし償却の廃止により実態が明らかとなり高い値となっている。料金改定を含め検討し、経営改善を図る必要がある。
④企業債残高対給水収益比率は、類似団体平均値より高い値となっているのは以前、下水道工事に併せ支障水道管移設と老朽管の布設替を施工したためであるが、管路及び機器等の更新の際には企業債を借り入れているため今後料金改定も含め検討し、経営改善に努めていきたい。
⑤料金回収率は、類似団体平均値に比べ低い値となっている。一般会計からの繰入金に頼っているためで、料金改定を含め検討する必要がある。
⑥給水原価は、修繕費や維持管理費の増加により、類似団体平均値より高い値となったため、経費削減等に努めたい。
⑦施設利用率は、施設の統廃合が可能な施設を検討したり、施設規模の見直しの検討も行い適切な施設規模となるよう努めたい。
⑧有収率については、安定に供給できるよう今後、漏水調査や計画的な老朽管の更新により有収率向上に努めていきたい。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値より低い値ではあるが、計画的に更新を行っていきたい。
②管路経年化率及び管路更新率は、順次更新を行っているが、今後も耐震化を含めて継続して取り組み老朽管の解消を図っていきたい。そのためには、財源が必要となるため、料金改定について検討する必要がある。

全体総括

経営の健全性・効率性では、給水収益では賄えきれず一般会計からの繰入金により経営を維持している状況であるため、料金改定について検討する必要がある。また、漏水調査等により有収率の向上に努めていきたい。
老朽化の状況では、今後耐震化を踏まえた管路の更新や機器の更新など計画的な水道施設の更新が必要となり投資的経費の増加が見込まれるため、料金改定を検討し経営の安定化を図る必要がある。